パンダの赤ちゃんは、生まれたときは おかあさんの 手のひらくらいの大きさしかありません。目は見えず、耳のあなもふさがっています。まだ白くろの けがはえていなくて、おかあさんに あまり にていません。

パンダの赤ちゃんは じぶんでは あるくことができません。おかあさんの 上にのせてもらって、おちちをのみます。

パンダの赤ちゃんは、生まれて一、二しゅうかんほどたつと、白とくろの けがはえてきます。生まれて六か月ぐらいは おちちだけ のんでいますが、やがて 竹のやわらかいところから たべはじめます。

上の文しょうをよんで、パンダの赤ちゃんのようすをかきましょう。

**生まれたばかりのようす**

**どのようにして大きくなるか**